

# 株式会社ペルソナ

## Oracle EPM を活用し、わずか 10 分で 経営管理レポートの作成が可能に

「柔軟性の高い Oracle Planning and Budgeting Cloud Service を活用することで、丸一日かかった経営管理レポートをボタン一つで自動作成でき、かつ各部門へ簡単に共有できるようになりました。そのうえ、旧システムでは出来なかったカードブランドごとの損益分析が容易に行えるようになり、戦略的な意思決定が可能となりました。」株式会社ペルソナ 取締役 執行役員 事業戦略室長 武内宏之氏

エイチ・ツー・オー リテイリンググループ傘下の株式会社ペルソナは自社発行のペルソナカードやソレナカードをはじめ、博多阪急エメラルドカード、エメラルド STACIA など、多数のカードブランドをもつクレジットカード事業者である。同社は 阪急阪神百貨店を中心とする親会社の強大なネットワークを武器に、すでにカードの発行枚数が 100 万枚を超え急速に業績を伸ばしている。2014 年に自社カードの発行を開始し、成長カーブに乗る同社にとって、ベストなビジネス戦略を策定するためにカードブランドごとの損益を詳しく把握することが急務となっている。

### Challenges

- 社内リソースの配分や組織再編といった重要な意思決定を戦略的に行うため、カードブランドごとの売り上げ、経費などの実績を迅速に把握し予算と比較・分析する能力を獲得すること
- カードブランドごとの収支情報を上層部だけでなく各部門の現場管理者とも共有

することで、カードブランドごとの収益性に軸足を置いた営業戦略を立案できるようにすること

- システムを活用することで経営管理レポートの作成に必要なデータ収集・集計・加工の正確性と効率性を向上させること
- 特定の社員の経験に依存することなく、経理スタッフ全員がユーザーごとのニーズに合わせて各種レポートを作成できるよう、柔軟性の高い経営管理・予算管理システムを構築すること

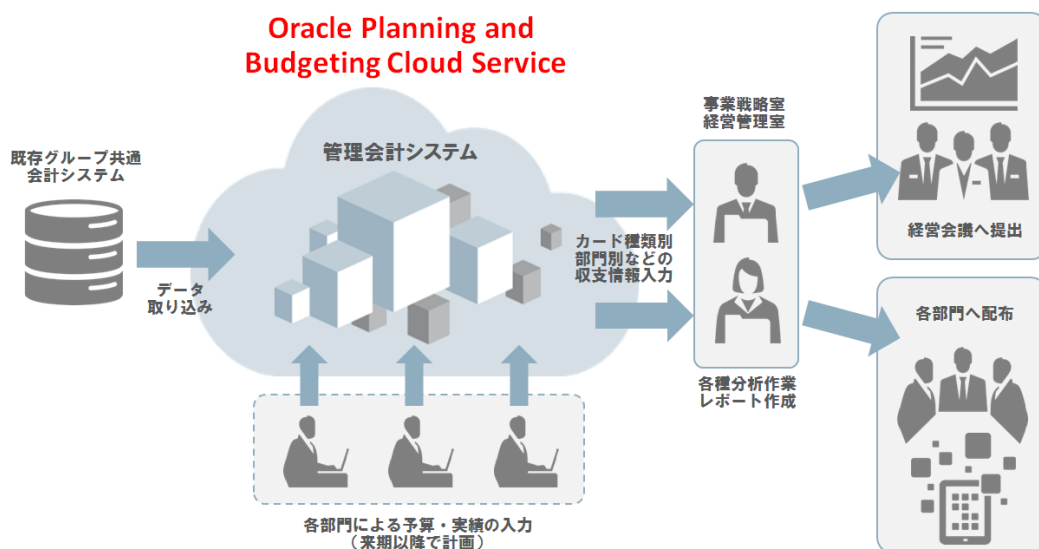
### Results

- 従来は Excel 上の数多くある予算表に対して、手入力で実績データの割り当てを行っていたため、入力と集計に丸一日を要したが、Oracle Planning and Budgeting Cloud Service (以下、Oracle PBCS) によって、予実分析レポートの作成などが自動化され、わずか 10 分に短縮された。また、経理スタッフがこうした負担から解放されたことで、分析業務や中長期的な計画策定などより戦略的な業務に集中できるようになった
- 特定の社員の経験に依存するリスクを解

消し、経理スタッフ全員がセルフサービスで簡単に個々のユーザーのニーズに合わせたレポートを作成できる環境を実現した

- より詳細な分析が必要となったときは、必要な出力項目を適切なデータ粒度で適切な場所に表示させることができ、また一度作成しておくことで次回以降はそのまま利用可能であるため、同じ作業を繰り返す必要がなくなった
- 新規導入する Oracle PBCS と従来使ってきた Microsoft Excel をシームレスに接続し、社員たちが使い慣れたスプレッドシート形式のインターフェイスを構築したことで、使い勝手の観点からもレポート作成業務の効率性を向上させた
- Excel の手作業などの作業負担により、発生していた残業がなくなった
- ビジネスの成長に伴い、部門や事業の増加が継続的に行われていく中で、従来の仕組みでは、例えば部門が変わる毎に関連レポートを全て手直しの必要があったが、Oracle PBCS の導入により、管理軸に対して更新を行えば関連レポートのレ

### ■ 新管理会計システム概要図





**株式会社ベルソナ  
事業戦略室  
部長代理  
飯尾 かおる氏**



**株式会社ベルソナ  
事業戦略室  
サブマネージャー  
澤田 由美氏**



**TIS 株式会社  
産業事業本部  
エンタープライズソリューション事業部  
エンタープライズソリューション第 2 部  
主任 甲本 景子氏**

イアウトも自動で変更されるので、メンテナンス負荷が大きく減少した

- Oracle PBCS の各種分析・レポート出力機能を活用することで、営業部隊が各カードブランドの収益性を一目瞭然に把握できるようになり、利益の最大化を意識した営業戦略を立てられるようになった。
- 財務情報だけでなく、新規カード発行枚数や退会件数など経営指標の情報も統合管理が可能な経営管理基盤を Oracle PBCS に構築できたことで、さらなる経営管理の高度化、業務フローの見直し、および業務効率の向上を業務部門主体で段階的に推進していく道筋ができた

#### Why Oracle

「システムの柔軟性、信頼性、そして導入しやすさの観点から Oracle PBCS を選定しました。また、オラクルのエキスパートによって管理されているサブスクリプション型のシステムは障害リスクの回避及び急速成長への柔軟な対応が可能となったという意味でも、当社にとってありがたいソリューションです」- 株式会社ベルソナ 事業戦略室 部長代理 飯尾かおる氏

#### Execution

ベルソナは2015年末頃より管理会計の仕組みの構築を計画し、PwC コンサルティング合同会社と共に枠組みの構想を策定した。その構想に基づき Oracle PBCS による新しい経営管理・予算管理システムの要件定義をオラクルパートナーである TIS 株式会社（以下、TIS）に依頼した。TIS はシステム開発及び導入プロセス途中でのデモンストレーションを支援した。その結果ベルソナは約 3 か月でプロジェクトを完了し、2016年7月の月次経営会議で初めて新システムで作成した経営管理レポートを提出した。

「Oracle PBCS の高い柔軟性のおかげで、ハードルの高い一斉導入ではなく簡単なエリ

アから部分的、段階的に新システムに切り替えることができ、導入プロセスが容易になりました」- 株式会社ベルソナ 経営管理室 マネージャー 井筒徹氏

#### Partner Involvement

TIS は他社での Oracle PBCS 導入の実績を評価され、今回も Oracle PBCS 導入の依頼を受けた。新システムがベルソナ社のビジネスニーズを満たすことを保証するため、TIS は毎週の会議で同社と一緒にシステム構成及びインターフェイス設計について検討を重ねた。

「TIS は IT の専門知識のみならず、会計パッケージに関する深い知見も提供してくれました。プロフェッショナルかつ親切な同社スタッフによる支援のおかげで、極めて短時間で Oracle PBCS を導入することができました」- 株式会社ベルソナ 事業戦略室 サブマネージャー 澤田由美氏

#### Oracle Solutions Used

- Oracle Planning and Budgeting Cloud Service (Oracle PBCS)

### Oracle Customer



#### 株式会社ベルソナ

- URL : <http://www.persona.co.jp/>
- 業種 : Financial Services

### Oracle Partner



#### TIS 株式会社

- URL : [www.tis.jp/](http://www.tis.jp/)

#### PwC コンサルティング合同会社

- URL : [www.pwc.com/jp/ja](http://www.pwc.com/jp/ja)